

企業様 インタビュー

社会福祉法人 サンライフ/サン・ビジョン
社会貢献事業推進室 室長 山下麻規子様

今回は現在最もニーズが高く、今後も高いニーズが予想される介護職について業務内容や職場環境を正確に理解いただくためにお話を伺いました。

介護の仕事の今についてお話を聞かせてください。

介護職は体を壊す、腰を痛めるといった残念なイメージがありますが、そこからは脱していると思います。

ノーリフティングポリシーを推奨しており福祉用具、機械を使い、抱えない介護、持ち上げない介護を進めています。働く環境を整えることは法人側の責務ですから、職員の健康管理に気を付けています。



ノーリフティング研修の様子



老人の定義が75才からこの話も出ていますから、75才の人が80才の人に力で行う介護は出来ませんからね。
介護の現場は3K(きつい・きたない・きけん)ではなく、利用者様と職員双方の心と体に優しいケアをする場へと変わっています。

そうですね。職員の健康と安心安全が守れなければ、利用者様に安心安全な介護は提供できませんからね。それでは標準的な介護職の仕事内容を教えてください。
デイサービス利用者様には来ていただいている間、安心安全に過ごしていただく場であり、入所型利用者様には24時間365日ケアする場となります。
生活していく上でできることは一日でも長くご自身で出来るようにサポートする姿勢が大切です。介護度が同じであっても使える身体機能が違いますし、精神的な状態によっても支援内容が変わってきますので一言でお伝えする事は難しいですね。介護プランがあるのでそれに基づいてケアしていきます。
何でもやって差し上げるのではなく出来ない所だけを支援させていただくのが今の介護です。

利用者様とのコミュニケーションの取り方やトラブルが起きた時の対処方法を教えてください。

認知症の方への対応は難しいため、認知症の方への理解が深まるように「認知症研修」などを行っています。
又、トラブルについては双方の信頼関係が一番大切ですので、ごまかさず、嘘をつかず、些細なことでも「ヒヤリハット」や「業務ミス報告書」を活用し、上司に報告します。同じことを繰り返さないためにチームで話し合い、対策を立て実行

します。
一度崩れた信頼関係を取り戻す事は大変な努力と時間がかかりますから、そのような事態を招かない事が大切ですね。母子家庭のお母様にとって一番気になる点ですが、子どもの急な病気の場合の欠勤、早退についての対応をお聞かせください。
仕方のない事ですしお互い様の精神で対応することが大切だと思います。母子家庭だから当たり前、子どもが病気だから当たり前といった考え方だと職場全体が乱れ人間関係が悪化してしまいます。子どもを持っては誰にでも起こりうることでありますので、若い職員にも理解してもらえらるよう、職員教育を徹底していくことが課題だと思います。

次にキャリアアップに向けての資格取得について教えてください。

社内に研修センターがあり、初任者研修、実務者研修は終了すれば無料です。介護福祉士、社会福祉士の資格取得に関しても登録料、試験料が無料になります。試験前の勉強会などのバックアップシステムは出来上がっています。
キャリアアップの道筋がしっかりとできていく職種ですので、腰を痛めるなどの偏った情報で介護職を敬遠しないでいただきたいと思います。
キャリアアップするためには正社員になることも目標のひとつとして欲しいです。子どもが

小さい人はその間に勉強して資格を取得し、成長後にフルタイムで働く正社員になっていただきたいです。
職員にはセルフケア研修を行い、ストレスを解消して生き生き働けるようにしています。
頑張れば正社員になれるのは嬉しいですし、目標があれば生活に張りが生れますね。ところで、介護職の向き不向きはどこで判断すればいいでしょうか。
介護はチームケアですので、チームとして成り立つことが必要です。情報をきちんと共有できるか、発信できるか、利用者のちょっとした変化に気づけるかなどです。
利用者様が365日24時間安心安全にお暮しいただくための視点を常に持っている人は、ずっと介護職を続けられると思います。

面接時の注目点はどんなことでしょうか。
介護技術を習得する時間に個人差はありますが、技術は後からでも付いてきます。介護は相手なので心根の良い人、ズルをしない人が一番だと私は思っています。面接時には誠心誠意こちらの質問に答えようとして下さる姿勢が見られると採用したいと思います。嘘をつく人は一番困りますね。
後は社会人としてのマナーが身につけているかどうかも重要です。これは利用者様、ご家族様との良好なコミュニケーションを保つ為にも大切な点です。

それでは最後にシングルマザーが長く働くコツ、心構えなどを教えてください。
育児との両立が重要ですので働ける時間帯、曜日などの希望を正確に聞き取り、事業所とマッチングさせていきます。
デイサービスからスタートし資格取得後、特養へ移動する方法もありますので正職員への道も開けてきます。
子どもに頑張っている所を見せたいと思っている方が多く、慣れれば就業時間を延長する方もあります。働くペースがつかめればシングルマザーは精神的に強いと感じます。それぞれの家庭にはそれぞれの事情がありますので、自分たちを特別だと思わず、シングルマザーであることに甘えないことですね。向上心を持つことが長く働けるコツだと思います。介護の仕事に興味がある方は、是非、当法人施設に見学いらしてくだ

大変参考になるお話しをしていただきありがとうございます。
山下室長の話をお聞きし、介護の仕事は日々進歩していることを実感しました。思い込みや偏った情報に惑わされず、職場見学などを通して職場環境、仕事内容を確認してください。自分自身の目で見て納得できる仕事に就くことが自立に繋がる道です。
本日お聞きした事を皆様の就業の参考にしてください。ければと思います。

